

Universal Serial Bus Interface Hexa Media Drive 2

USB HMD2

Model YD-8V24



日本語 ユーザーズ・マニュアル

<PN 149388-01 Rev. B>

Copyright © 2002 Y-E Data, Inc. All Rights Reserved.

December 2002

ヘキサ・メディア・ドライブ2 (HMD2)ご使用上の重要なご注意

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ■ USB HMD2 をパソコンに接続する前に、本マニュアルに目を通してください。接続前にドライバソフトをインストールする必要があります。 ■ USB HMD2 の USB ケーブルを抜き差しするとき、本体パソコンの電源をオンオフする時はあらかじめメモリーカードを取出してください。 ■ 本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を与えたり、振動の激しい場所に置いたりしないで下さい。故障の原因となります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解、改造はしないでください。故障、火災、感電の原因となります。 ■ 水気の多い場所での使用、保管は行わないでください。本製品内部に液体がはいると、故障、火災、感電の原因となります。 ■ 指定されているメモリーカード以外は、挿入しないでください。硬貨、クリップなどの金属片を差込みますと故障、火災、感電の原因となります。 ■ アクセスランプが点灯している状態で、メモリーカードを取出さないでください。 ■ 本製品は、一般的電器機器に使用されることを意図して設計されております。故障や誤動作が、人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れのある特別な品質、信頼性を要求される装置（航空宇宙機器、原子力制御システム、交通機器、輸送機器、産業ロボット、燃焼機器、各種安全装置、生命維持装置等）には、使用しないで下さい。

- 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは著作権法上禁止されております。
- 本製品に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いません。
- このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷については責を負いかねます。
- 万一、本製品の製造上の原因による不良がありましたらお取替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

VCCIに基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本説明書に記載して説明図は、実際のパソコンの画面と異なることがあります。

Apple、Mac、Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。
 コンパクトフラッシュ、CompactFlash は SanDisk Corporation 社の登録商標です。
 IBM は、IBM Corporation 社の登録商標です。
 Microsoft Windows は、Microsoft Corporation 社の登録商標です。
 MultiMediaCard は Infineon Technologies AG 社の登録商標であり、MultiMediaCard Association にライセンスされています。
 SD Logo は登録商標です。
 SONY、メモリスティック、Memory Stick は SONY Corporation 社の登録商標です。
 SmartMedia は株式会社 東芝の登録商標です。
 Y-E Data は株式会社ワイ・イー・データの登録商標です。
 その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または、登録商標です。



目次

1. 概要	4
1.1. USB HMD2 の特徴.....	4
1.2. USB HMD2 各部の名称.....	5
1.3. 付属品.....	5
1.4. 使用可能なメモリーカードの種類.....	6
1.5. メモリーカードのロット	7
1.6. 対応する OS	8
2. Macintosh	9
2.1. Mac OS X 10.2 及び 10.1.2 以降(10.1.0,10.1.1 は除く) インストール方法.....	9
2.2. Mac OS 8.6 及び 9.0.4 以降(9.0.2,9.0.3 は除く)インストール方法	10
2.3. ドライバソフトウェアのアンインストール方法	12
2.4. Mac 上での操作方法	13
2.5. Macintosh での制限事項.....	15
3. Windows	17
3.1. Windows XP インストール方法.....	17
3.2. Windows 2000 インストール方法.....	21
3.3. Windows Me インストール方法.....	24
3.4. Windows 98 及び Windows 98 SE インストール方法	27
3.5. ドライブレターの変更方法 (参考情報)	30
3.6. Windows での操作方法.....	33
3.7. Windows での制限事項.....	36
4. 仕様	38
4.1. 使用温度範囲.....	38
4.2. 使用湿度範囲.....	38
4.3. 動作時の姿勢.....	38
4.4. USB 仕様.....	38
4.5. 電氣的仕様	38
4.6. サポートするメモリーカード.....	38
5. 技術サポートの問い合わせ先	38

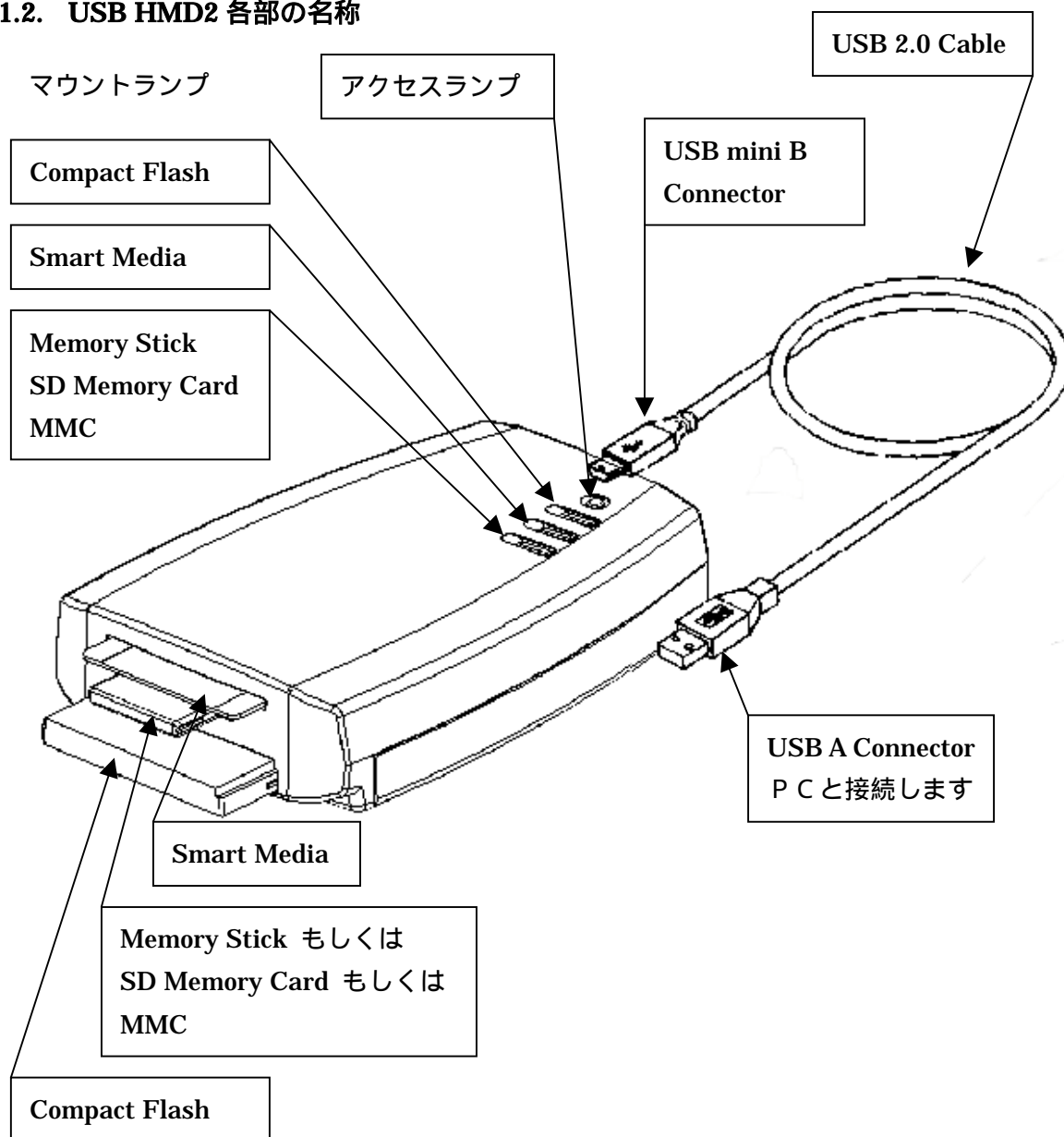
1. 概要

USB Hexa Media Drive 2(HMD2)は、Universal Serial Bus (USB)インターフェースの複合メモリーカード・リーダー・ライターで、6種類のメモリーカードを一つの装置でお使いになれます。ご使用になるには、お使いのパーソナルコンピュータに、USBポートが装備されていること、お使いのOSがUSBをサポートしていること、USB HMD2用のドライバソフトウェアがインストールされていることが必要です。また、本製品は、USB2.0ポート対応です。お手元のパソコンにUSB2.0ポートが装備されていれば、より高速なデータ転送速度を実現させる事が出来ます。

1.1. USB HMD2 の特徴

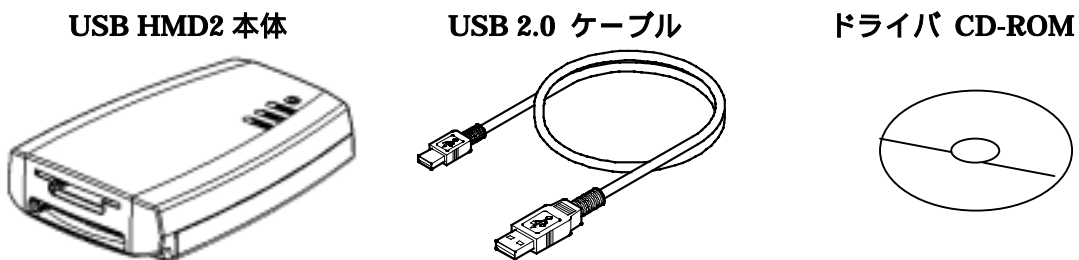
- 1) 新しいUSB2.0規格に対応しています。USB2.0ポート装備のパソコンに接続すると480Mbpsの転送速度でアクセスできます。
- 2) これ一台で、現在市場に出回っている以下の6種類のメモリーカードが取り扱えます。
 1. SmartMedia
 2. CompactFlash
 3. Microdrive
 4. Memory Stick
 5. SD Memory Card
 6. MultiMediaCard
- 3) 新開発の専用IC搭載により、高速なメモリーカードのアクセスが可能です。
- 4) 新たに採用したマウント表示LEDランプにより、メディアが取外し可能かを容易に判別できます。これによりメディア使用中に誤ってメディアを取外したことによるエラーを未然に防止できます。
- 5) 新開発の複数メモリーカード対応コネクタを採用しましたので、コンパクトな筐体にも関わらず、全種類のメディアカードがアダプタなど不要でそのまま挿入できます。
- 6) 業界標準のUSB Mass Storage Class および、Multi Logical Unit Number に対応していますので、最新のOSであるWindows XP, Windows Me, Mac OS Xでは、別途ドライバソフトウェアをインストールするなどの手間をかける必要がなく、USBケーブルを接続しただけでも、直ちに使用を開始することが出来ます。
- 7) Windows 2000、Windows 98 および、Macintosh でも、独自ドライバを同梱してありますので、簡単な操作ですぐお使いになれます。
- 8) 小型軽量でACアダプタも不要ですので、モバイル環境でもお使いになれます。
- 9) USBケーブルは、最新のUSB2.0規格標準のUSB mini Bコネクタを採用して、本体から取外しが可能です。

1.2. USB HMD2 各部の名称



【注意】マウントランプは、メディアが通電中であることを表示するものです。

1.3. 付属品



【注意】メモリーカードは付属していません。別途買い求め下さい。

1.4. 使用可能なメモリーカードの種類

メモリーカード	対応
CompactFlash	DOS フォーマットされた、メモリーカードがお使いになれます。 モデム、LAN、PHS カード等の I/O カードはお使いになれません。
Microdrive	IBM 社が製造している、Type II 型の、マイクロドライブは、1 GB の製品まで動作確認しております。 マイクロドライブは消費電力が大きいので、ご使用の際は他のメモリーカードと同時に使用しないでください。
SmartMedia	DOS フォーマットされた、4MB から 128MB のカードがお使いになれます。3.3V タイプ (3V と表示されているのも可) のみサポートしています。5V タイプのカードはお使いになれません。 ID 付きの SmartMedia もお使いになれますが、ID 機能には対応していません。著作権保護機能のある音楽 Data 等は、取り扱いできません。また ROM カードには対応していません。
Memory Stick	4MB から 128MB までのスティックがお使いになれます。 Magic Gate 付きのカード (白色) もお使いになれますが、Magic Gate 機能には対応していませんので、著作権保護機能のある音楽 Data 等は取り扱いできません。 メモリー以外の GPS 等の I/O カードはご使用になれません。
MultiMediaCard (MMC)	16MB から 128MB までのカードがお使いになれます。 Keitaide-Music 対応カードもお使いになれますが、Keitaide-Music 機能 (UDAC-MB プロトコル) には対応していませんので、著作権保護機能のある音楽 Data 等は取り扱いできません。 MultiMediaCard では、読み取り・書き込みの速度は他のカードと比較して大変遅くなります。これはカード側の規格による制限となっております。
SD Memory Card	8MB から 512MB までのカードがお使いになれます。 Secure Digital 機能には対応していませんので、著作権保護機能のある音楽 Data 等は取り扱いできません。 SD I/O カード及び、SD Combo カードはご使用になれません。

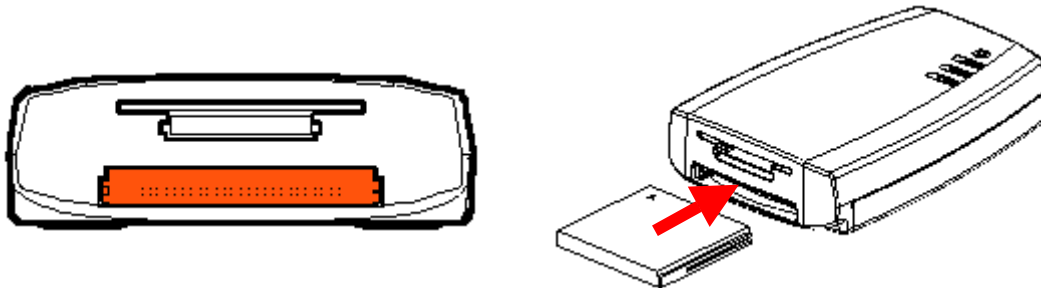
注意)

- 1) 本マニュアルでは、上記 6 種類の媒体を総称して、メモリーカードと表現しています。
- 2) Microdrive をお使いの時は、消費電力の関係で、他のメモリーカードと同時に使用しないでください。
- 3) Memory Stick、MultiMediaCard 及び、SD Memory Card は、同一のスロットを使用する関係で、同時に使用することは出来ません。
- 4) Format は、DOS Format のみサポートしています。DOS Format 以外の形式で Format されたメモリーカードは、取扱いできない場合があります。

1.5. メモリーカードのロット

1) CompactFlash と Microdrive

Compact Flash と Microdrive は、ラベル面を上にして一番下のロットに挿入します。



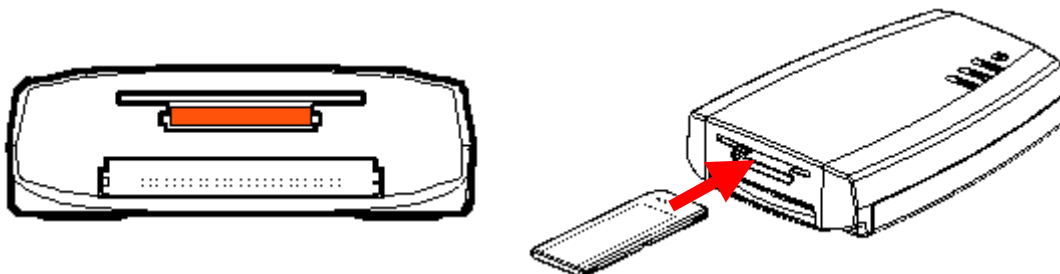
2) Smart Media

Smart Media は、金色の端子を上にして、一番上のロットに挿入します。



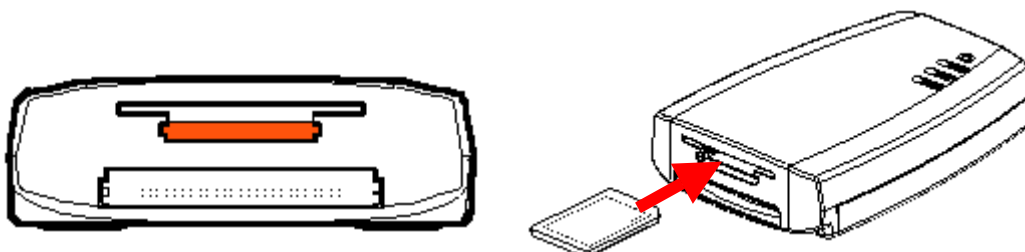
3) Memory Stick

Memory Stick は、ラベル面を上にして、中央のロットの上部に挿入します。



4) SD Memory Card と Multi Media Card

SD Memory Card と Multi Media Card は、ラベル面を上にして中央のロットの下部に挿入します。



1.6. 対応する OS

PC	OS	ドライバソフトウェア	参照ページ
Macintosh	Mac OS X 10.2 Mac OS X 10.1.2 以降 (Mac OS X 10.1.0,10.1.1 は除く)	Mac に組み込まれている標準ドライバで動作します。	9
	Mac OS 9.0.4 以降 (Mac OS 9.0.2,9.0.3 は除く) Mac OS 8.6	付属の CD-ROM からドライバソフトをインストールします。	10
Windows	Windows XP	Windows に組み込まれている標準ドライバで動作します。Windows XP Service Pack1 をインストール後、付属の CD-ROM から、ドライバレベル変更ドライバをインストールするとより快適にお使いになれます。	17
	Windows 2000	Windows 2000 Service Pack3 をインストール後、付属の CD-ROM からドライバソフトをインストールします。	21
	Windows Millennium Edition (Me)	Windows に組み込まれている標準ドライバで動作します。付属の CD-ROM から、アイコン変更ドライバをインストールするとより快適にお使いになれます。	24
	Windows 98 Windows 98 Second Edition (SE)	付属の CD-ROM からドライバソフトをインストールします。	27

【注意】

- Apple 社の情報では、Mac OS 9.0.2 及び 9.0.3 では、OS 起動前に USB 機器を接続していると、Mac OS が起動しない不具合があります。Mac OS 9.0.4 以降にアップデートしてください。詳細は、Apple 社の Tech Info Library のア－ティクル番号 25139 をご覧ください。
<http://docs.info.apple.com/article.html?artnum=25139>
(アクセスするには Apple 社への登録 (無料) が必要です。)
- Mac OS 8.1 及び 8.5 には対応しておりません。Mac OS 8.6 以降にアップデートしてお使いください。
- Windows 95 には対応しておりません。
- Mac OS X の Version 10.0 から 10.1.1 までを搭載した Mac に接続した場合、正常に動作しません。Mac OS X Version10.1.2 以降にアップデートしてください。
- HMD2 の最新の情報については、弊社 Web ページ <http://www.yedata.co.jp/support/> をご覧ください。
- USB ポートを Add In カードで増設した、Mac では動作保証はできません。また、Mac では、USB1.1 のみの動作となります。
- OS をアップグレードした PC での動作保証はできません。
- Windows 2000 SP3 以前のドライバソフトもインストールが出来ますが、最適な環境でお使いになるには、SP3 をインストールされる事をお勧め致します。また、SP3 をインストール致しましたら、再び、付属 CD-ROM からドライバソフトをインストールしてください。

2. Macintosh

2.1. Mac OS X 10.2 及び 10.1.2 以降(10.1.0,10.1.1 は除く) インストール方法

Mac OS X では、OS に標準で組み込まれている Apple 社製のドライバソフトウェアで動作します。特にドライバソフトウェアのインストール作業は不要です。

- 1) 付属の USB ケーブルを用いて、USB HMD2 と Mac の USB ポートを接続して下さい。
- 2) メモリーカードを HMD2 に挿入して下さい。しばらくすると、リムーバブルディスクのアイコンがデスクトップ上に現れてアクセス可能になります。

リムーバブルディスクのアイコンをダブルクリックすると、メモリーカード上のファイルが表示されます。



【注意】

Mac OS X では OS の制限により、メモリーカードの種類に関らず、同じリムーバブルディスクのアイコンになります。アイコンの形状でメモリーカードの種類を区別することはできませんので、同時に複数のメモリーカードをご使用される場合は、注意してください。

Mac OS X Version 10.0 から、10.1.1 まで OS では、正しく動作しません。必ず Mac OS 10.1.2 以降へアップデートしてからお使いください。

デジタルカメラで使用した写真データなどの記録されたメモリーカードを挿入すると、イメージキャプチャーソフトウェアが自動的に起動する場合があります。イメージキャプチャーの使い方については、Mac OS X のマニュアルをご覧ください。



2.2. Mac OS 8.6 及び 9.0.4 以降(9.0.2,9.0.3 は除く)インストール方法

USB HMD2 を Mac に接続する前に、ドライバのインストールが必要です。以下の説明に従って、ドライバのインストールを行ってください。インストーラの表示は英語になりますが、ドライバは日本語環境に対応しています。

- 1) HMD2 のドライバ CD-ROM を、Macintosh に挿入してください。インストール後に再起動が行われますので、他のアプリケーションは予め終了しておいてください。
- 2) CD-ROM の Window が自動的に開きます。もし、開かなかった場合は、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いてください。ReadMeJ.pdf は日本語マニュアルです。



- 3) USB HMD Installer のアイコンをダブルクリックして、インストールを開始します。
- 4) **Continue** ボタンをクリックしてインストールを続けます。



- 5) バージョン情報、ライセンス等の情報が表示されます。内容は、本マニュアルと同じですので、**Continue** ボタンをクリックしてください。



- 6) インストール先(Install Location)を確認し、必要に応じて変更してください。**Install** ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



- 7) インストール後に再起動が行われる旨の警告が表示されます。**Continue** をクリックしてインストールを進めてください。



- 8) インストールが終了します。**Restart**をクリックして、再起動してください。



- 9) 再起動後、付属の USB ケーブルを用いて、HMD2 と Macintosh 本体の USB port とを接続してください。
- 10) メモリーカードを HMD2 に挿入すると、対応するドライブのアイコンがデスクトップ上に現れてアクセス可能になります。アイコンをダブルクリックすると、メモリーカード上のファイルが表示されます。

アイコン	対応するメモリーカード
	Compact Flash Microdrive
	SmartMedia
	Memory Stick
	SD Memory Card Multi Media Card

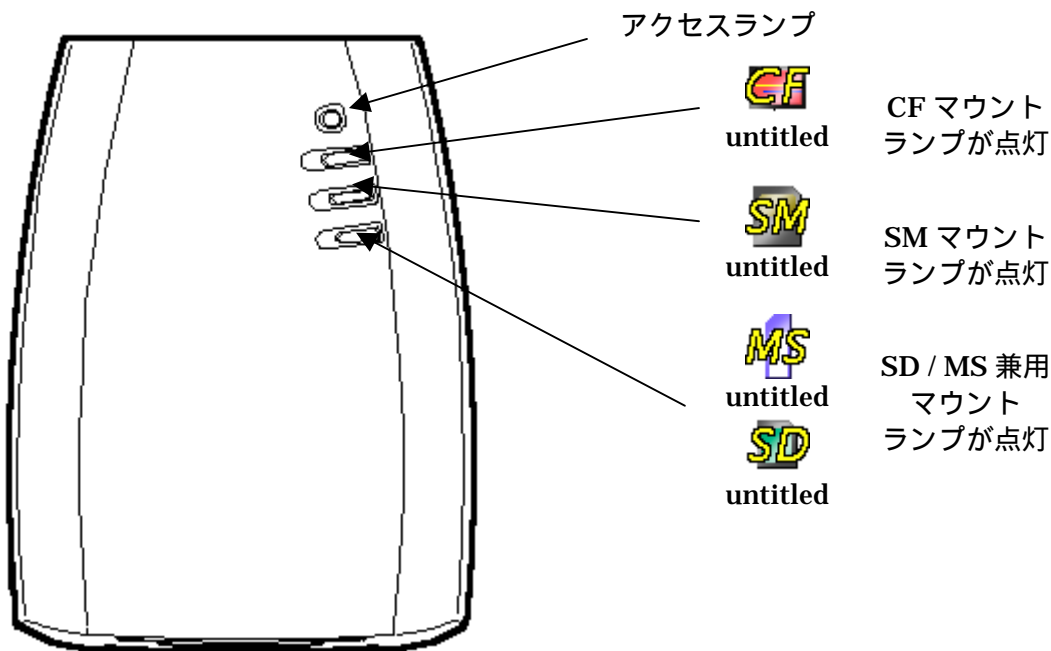
2.3. ドライバソフトウェアのアンインストール方法

ドライバソフトウェアをアンインストールするときは、コントロールパネルの機能拡張マネージャ(Extension Manager)にて、“Y-E Data USB Driver”と“Y-E Data Storage shim”の2つのファイルを、使用停止にしてください。

2.4. Mac 上での操作方法

1) メモリーカードの挿入(マウント)

USB HMD2 へメモリーカードを挿入すると、HMD2 上の対応するマウントランプが点灯し、デスクトップ上に、対応するメモリーカードのアイコンが現れてアクセス可能になります。メモリーカードは、正しい向きで、速やかに奥まで挿入してください。ゆっくり挿入したり、途中で止めたりしますと、正しく認識できない場合があります。



【注意】アクセスランプが点灯中は、メモリーカードを挿入しないようにしてください。

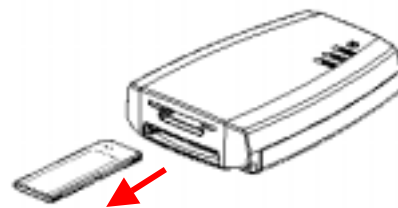
2) メモリーカードの取出し(アンマウント)

重要：本装置は、ドアロック機構や、オートイジェクト機構は付いておりません。メディアを取出す時は、下記のアンマウント操作を行って、対応するメディアのマウントランプが消灯し、デスクトップ上からアイコンが消えたことを確認してから、HMD2 から手動で、メモリーカードを抜き出してください。



アンマウント操作

アンマウント操作は、メモリーカードのアイコンをドラッグしてごみ箱にドロップ(メディアのアイコンをごみ箱の上に重ねて、ごみ箱が黒く反転表示になってから、マウスボタンを離す操作)するか、メディアのアイコンをクリックしてから、ファインダーの「特別」メニューから「取出し」を選ぶことで行います。



アンマウント操作を行いますと、対応するマウントランプが消灯し、メモリーカードのアイコンがデスクトップから消えます。アンマウント動作を行わないまま、いきなりメモリーカードメディアを取出しますと、ハングアップしたり、メモリーカード上のデータが壊れたりすることがあります。

【注意】アクセスランプ点灯中は、メモリーカードの取り外し、アンマウント操作をしないでください。

3) USB ケーブルの接続と取外し

USB ケーブルの接続は、必要になった時点で自由に行えますが、メモリーカードは予め取外してから USB ケーブルの接続を行ってください。USB ケーブルの取外しは、2) の説明に従って、予め全てのメモリーカードをアンマウントしてから、行ってください。メモリーカードをアンマウントしないまま USB ケーブルを抜きますと、ハングアップや、メディアのデータが壊れることがあります。

4) スリープ

本装置は、Mac のスリープに対応していますが、出来るだけ、スリープ前にメモリーカードのアンマウント操作を行うことをお勧めします。また、お使いの Mac OS のバージョンや Mac の種類によって動作に支障がある場合があります。この場合は、スリープ前に、アンマウント操作を行ってから、USB ケーブルを取外してください。スリープ中は、メディアの挿入や取出し、USB ケーブルの抜き差しは行わないようにしてください。

特に、ノートブック型の Mac では、スリープ中に USB ケーブルの抜き差しを行うと自動的にウエークアップする為に、意図しない電池の消耗や、ハードディスクの起動が発生しますので、持ち運び時には、必ず、全メディアをアンマウントしてから、USB ケーブルを取外すようにして下さい。

2.5. Macintosh での制限事項

1) フォーマット

メモリーカードの初期化（フォーマット）は、Mac 上では行わないでください。Mac 上で初期化を行いますと、デジタルカメラなどでお使いになれなくなる場合があります。

2) メモリーカードの排出

本装置は、オートイジェクト機構が付いていません。メモリーカードを取り出す時は、アンマウント操作を行ってから、手動で HMD2 から、メモリーカードを引き抜いてください。

3) 複数のメモリーカードのアンマウント

複数のメモリーカードを同時にアンマウントすると、一部のカードがアンマウントされずに残ることがあります。その場合は、各メディアを 1 個ずつ個別にアンマウントするようにしてください。

4) USB ケーブルの接続

CompactFlash カードもしくは、Microdrive を HMD2 に挿入した状態で、USB ケーブルを接続しないでください。Mac OS に正しく認識されないため、動作しない場合があります。USB ケーブルを接続するときは、予め全てのメモリーカードを HMD2 から取外した状態で行ってください。

5) Microdrive

IBM 社の Microdrive をお使いの場合は、他のメモリーカードを取外してください。Microdrive は他のメモリーカードより大きな電力を必要とするために、他のメモリーカードと同時に使用すると電力不足のためエラーが発生する恐れがあります。

6) 起動

メモリーカードからは、Macintosh は起動（スタート）出来ません。メモリーカードを挿入した状態で、Mac OS を起動したり、再起動したりしないようにしてください。OS に正しく認識されない場合があります。また、メモリーカードの状態によっては、OS の起動の途中でハングアップすることがあります。

7) USB ハブ

USB ハブをお使いの場合には、セルフパワー型のハブに、AC アダプタを取り付けてお使いください。USB HMD2 は、USB Port から 500 mA の電力の供給を必要とします。AC アダプタが付属していない、バスパワー型のハブでは電力が不足する為に動作しません。

8) USB ポート

USB HMD2 は、Macintosh 本体の USB ポートに接続するようにしてください。キーボード上の USB ポートには接続しないで下さい。電力が不足する為に動作しません。また、USB1.1 のみの対応となります。

9) アクセスランプ

アクセス中や、アクセスランプが点灯している時は、アンマウント操作や、スリープ操作、メモリーカードの抜き差しは行わないようにしてください。

10) 複数機器の使用

1台のパソコンに2台以上の USB 機器(キーボード、マウスを除く)を接続した場合は、同時にお使いになる USB 機器によっては、正常に動作しないことがあります。

11) 推奨する動作環境

USB 機器を安定して使用するには、Mac OS 9.0.4 以降の OS を推奨します。また、アドインカードで追加された USB ポートでは、動作しない場合があります。

12) 異常時の処置

万一 Macintosh がハングアップした場合には Macintosh のリセットを行ってください。リセットする方法については、Macintosh のマニュアルを参照ください。

3. Windows

3.1. Windows XP インストール方法

Windows XP では、OS に標準で組み込まれているマイクロソフト社製のドライバソフトウェアで動作します。USB ケーブルを接続するだけで、必要なドライバが自動的にロードされますので、すぐにお使いになれます。さらに、製品付属のドライバ CD-ROM からドライブラベル変更用ドライバをインストールしていただくと、各メモリーカードに対応するドライブラベルに変更されますので、より快適にお使いになれます。(Windows XP の Service Pack1 仕様により以降の場合、アイコンは4つともリムーバブルディスクになります。)以下の説明に従って、製品付属のドライバ CD-ROM から、ドライブラベル変更用のドライバをインストールしてください。

- 1) Windows XP を起動し、Administrator の権限のあるアカウントでログインします。
- 2) ドライバ CD-ROM を、PC の CD-ROM ドライブに挿入して下さい。自動的にインストーラが起動します。自動起動しない場合は、マイコンピュータフォルダから、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いて、CD-ROM 上の Install.exe をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

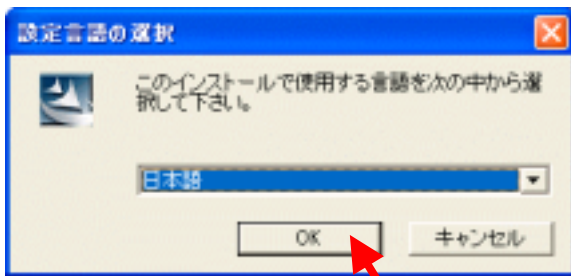


- 3) インストーラが起動すると、下記のメニュー画面が表示されます。[INSTALL]をクリックしてインストールを開始してください。



【注意】インストールを2度行うと、2回目にはアンインストールが行われます。

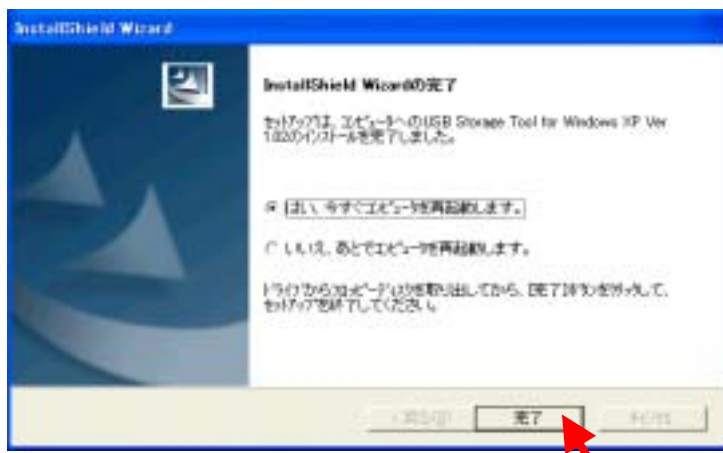
- 4) インストール時の言語の選択画面が出ます。 **OK** ボタンをクリックして、次へ進めて下さい。どの言語を選択しても、インストールされるドライバは同じです。



- 5) **次へ>** ボタンをクリックして、次に進めてください。インストーラは必要なファイルをハードディスクへコピーします。



- 6) **完了** ボタンをクリックしてインストーラを終了してください。Windows は、数秒後に自動的に再起動します。











- 7) Windows が再起動しましたら、再び Administrator 権限のあるアカウントでログインしてください。次に USB HMD2 の USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続して下さい。USB HMD2 は Windows に自動的に認識され、新しいハードウェアの追加が行われます。終了すると、マイコンピュータフォルダに新しくメモリーカードドライブアイコンが4個追加されます。下記の例ではドライブ文字は(F:)から(I:)ドライブとなっています。ドライブ文字(F:)などは、お使いのコンピュータの環境により異なります。




【注意】 上図は、Windows XP SP1 の参考表示です。SP1 以前の場合は、アイコンが異なります。

【参考】 ドライブレターの変更する場合、「3.5. ドライブレターの変更方法 (参考情報)」を参照してください。

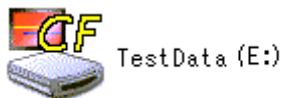
- 8) メモリーカードを挿入して、対応するアイコンをダブルクリックしますと、メモリーカード上のファイルが表示されてアクセス可能になります。

アイコン		対応するメモリーカード
SP1 の場合	SP1 以前の場合	
	 Compact Flash Drive	Compact Flash Microdrive
	 Smart Media Drive	SmartMedia
	 Memory Stick Drive	Memory Stick
	 SD Card Drive	SD Memory Card Multi Media Card

【注意】 Windows XP SP1 以前の OS をお使いの場合、 リブアップルディスクアイコンが、表示されます。

- 9) なお、ボリュームラベルが設定されているメモリーカードを挿入すると、ボリュームラベルがドライブラベルとして表示されます。これは、CD-ROM ドライブと同様の機能です。

たとえば、Compact Flash のスロットに、ボリュームラベルが”TestData”という Compact Flash を挿入した場合、アイコンとドライブラベルは次のような表示になります。



3.2. Windows 2000 インストール方法

Windows 2000 をお使いになる場合、ドライバ CD-ROM から、ドライバをインストールする必要があります。USB HMD2 を PC に接続する前に、下記の手順に従って、ドライバをインストールしてください。

- 1) Windows 2000 を起動し、Administrator の権限のあるアカウントでログインします。
- 2) ドライバ CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに挿入して下さい。自動的に、インストーラが起動します。自動起動しない場合は、マイコンピュータフォルダから、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いて、CD-ROM 上の Install.exe をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

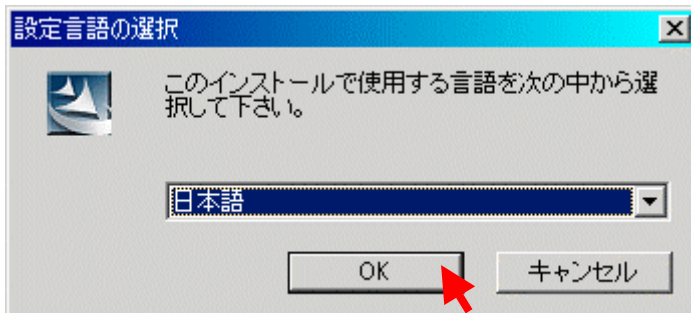


- 3) インストーラが起動すると、下記のメニュー画面が表示されます。[INSTALL]をクリックしてインストールを開始してください。

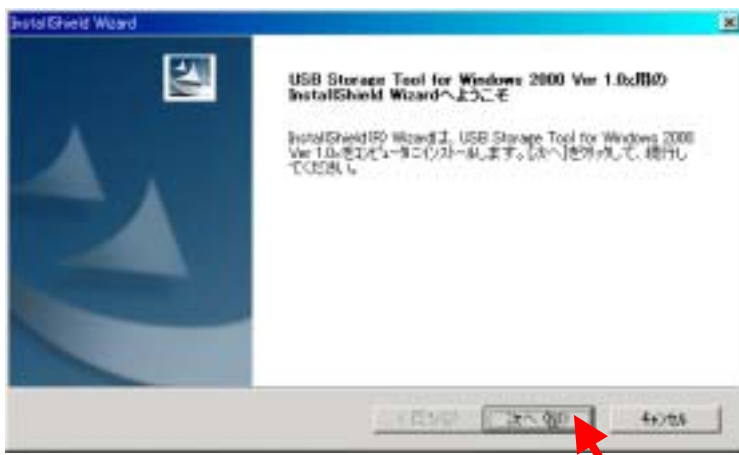


【注意】 インストールを2度行くと、2回目には、アンインストールが行われます。

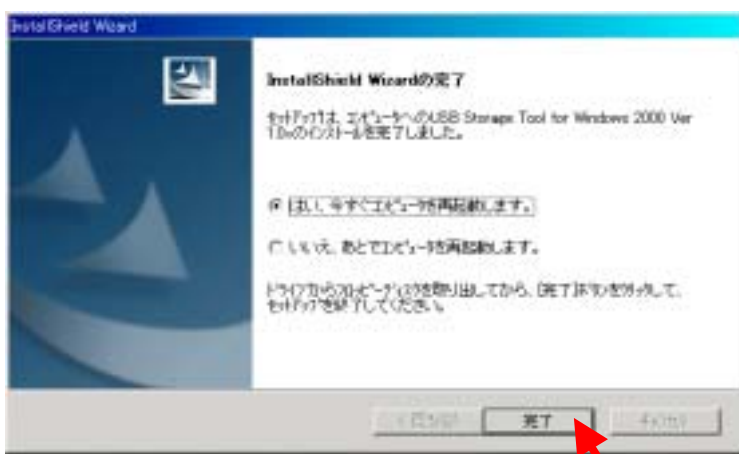
- 4) インストール時の言語の選択画面が出ます。 **OK** ボタンをクリックして、次へ進めて下さい。どの言語を選択しても、インストールされるドライバは、同じです。



- 5) **次へ>** ボタンをクリックして、次に進めてください。インストーラは必要なファイルを、ハードディスクへコピーします。



- 6) **完了** ボタンをクリックして、インストーラを終了してください。Windows は、数秒後に、自動的に再起動します。



- 7) Windows が再起動しましたら、再び Administrator 権限のあるアカウントでログインしてください。次に USB HMD2 の USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続して下さい。USB HMD2 は Windows に自動的に認識され、新しいハードウェアの追加が行われます。終了すると、マイコンピュータフォルダに、新しくメモリーカードドライブアイコンが4個追加されます。下記の例ではドライブ文字は(E:)から(H:)ドライブとなっています。ドライブ文字(E:)などは、お使いのコンピュータの環境により異なります。



【参考】ドライブレターの変更する場合、「3.5. ドライブレターの変更方法(参考情報)」を参照してください。

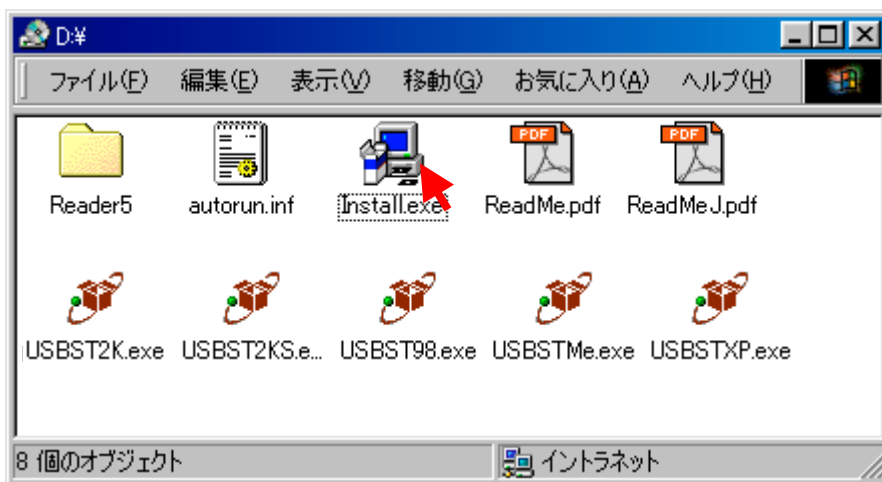
- 8) メモリーカードを挿入して、対応するアイコンをダブルクリックしますと、メモリーカード上のファイルが表示されてアクセス可能になります。

アイコン	対応するメモリーカード
	Compact Flash Microdrive
	SmartMedia
	Memory Stick
	SD Memory Card Multi Media Card

3.3. Windows Me インストール方法

Windows Millennium Edition (Me) では、OS に標準で組み込まれているマイクロソフト社製のドライバソフトウェアで動作します。さらに、製品付属のドライバ CD-ROM から、アイコン変更用ドライバをインストールして使用しますと、各メモリーカードが対応するアイコンになりますので、より快適にお使いになれます。以下の説明に従って、製品付属のドライバ CD-ROM から、アイコン変更用のドライバをインストールしてください。

- 1) Windows Me を起動します。
- 2) ドライバ CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに挿入して下さい。
自動的に、インストーラが起動します。自動起動しない場合は、マイコンピュータフォルダから、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いて、CD-ROM 上の Install.exe をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

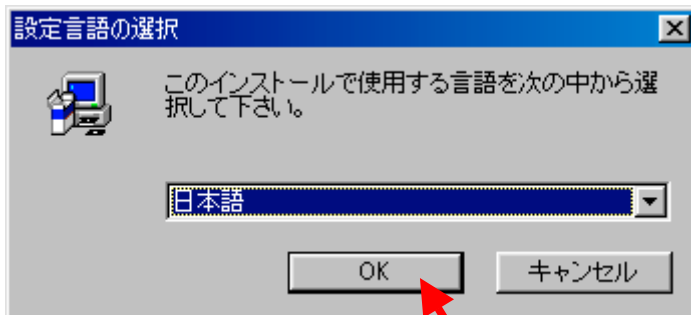


- 3) インストーラが起動すると、下記のメニュー画面が表示されます。[INSTALL]をクリックしてインストールを開始してください。

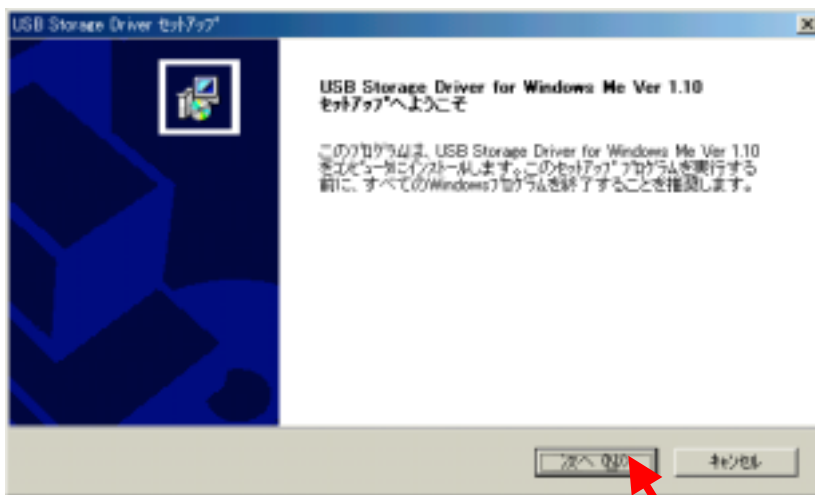


【注意】インストールを2度行うと、2回目には、アンインストールが行われます。

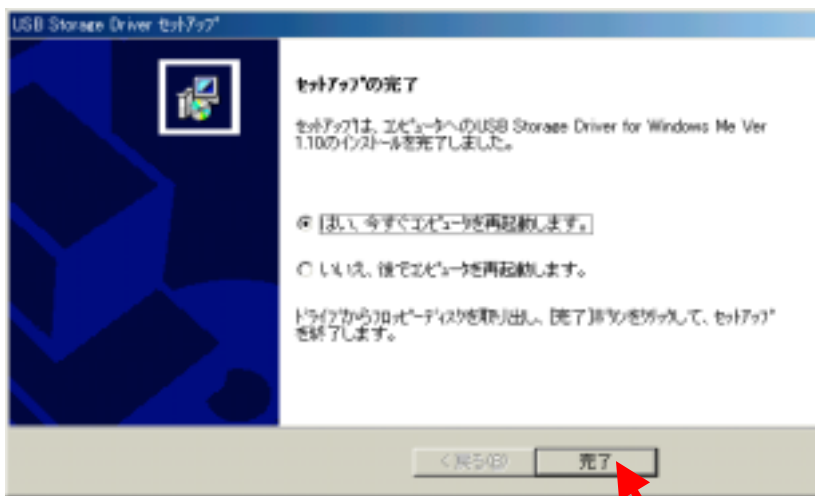
- 4) インストール時の言語の選択画面が出ます。 **OK** ボタンをクリックして、次へ進めて下さい。どの言語を選択しても、インストールされるドライバは、同じです。



- 5) **次へ>** ボタンをクリックして、次に進めてください。インストーラは必要なファイルを、ハードディスクへコピーします。



- 6) **完了** ボタンをクリックして、インストーラを終了してください。Windows は、数秒後に、自動的に再起動します。



- 7) Windows が再起動しましたら、USB HMD2 の USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続して下さい。USB HMD2 は Windows に自動的に認識され、新しいハードウェアの追加が行われます。終了すると、マイコンピュータフォルダに、新しくメモリーカードドライブアイコンが 4 個追加されます。下記の例ではドライブ文字は(E:)から(H:)ドライブとなっています。ドライブ文字(E:)などは、お使いのコンピュータの環境により異なります。



【注意】

アイコンドライバをインストールしない場合は、4つのアイコン共に、リムーバブルディスクのアイコンになります。この場合は、ドライブ文字の若い方から、Compact Flash, SmartMedia, Memory Stick, SD Memory Card の順番となります。

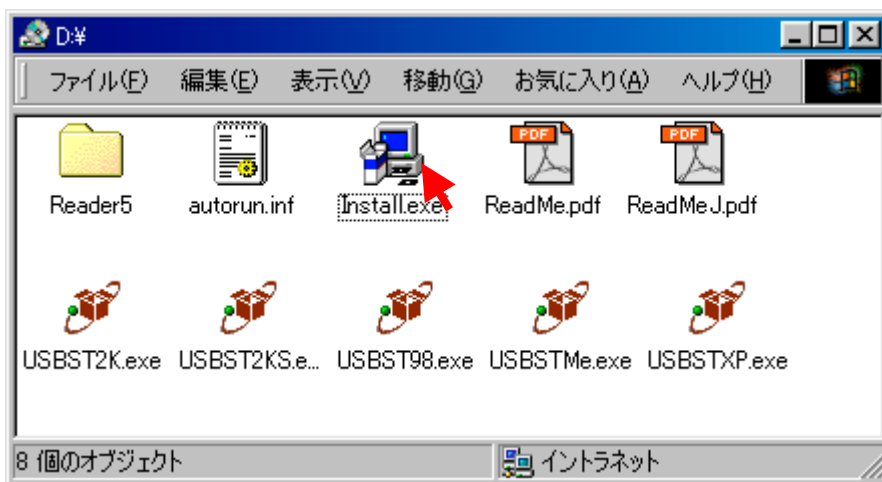
- 8) メモリーカードを挿入して、対応するアイコンをダブルクリックしますと、メモリーカード上のファイルが表示されてアクセス可能になります。

アイコン	対応するメモリーカード
	Compact Flash Microdrive
	SmartMedia
	Memory Stick
	SD Memory Card Multi Media Card

3.4. Windows 98 及び Windows 98 SE インストール方法

Windows 98 及び Windows 98 Second Edition (SE)では、ドライバ CD-ROM から、ドライバをインストールする必要があります。USB HMD2 を PC に接続する前に、下記の手順に従って、ドライバをインストールしてください。

- 1) Windows 98 を起動して下さい。
- 2) ドライバ CD-ROM を、PC の CD-ROM ドライブに挿入して下さい。自動的に、インストーラが起動します。自動起動しない場合は、マイコンピュータフォルダから、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いて、CD-ROM 上の Install.exe をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

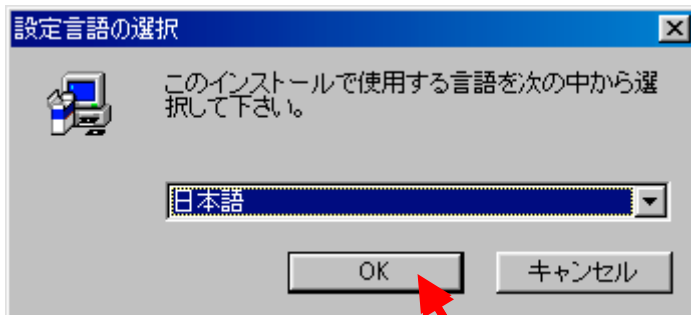


- 3) インストーラが起動すると、下記のメニュー画面が表示されます。[INSTALL]をクリックしてインストールを開始してください。

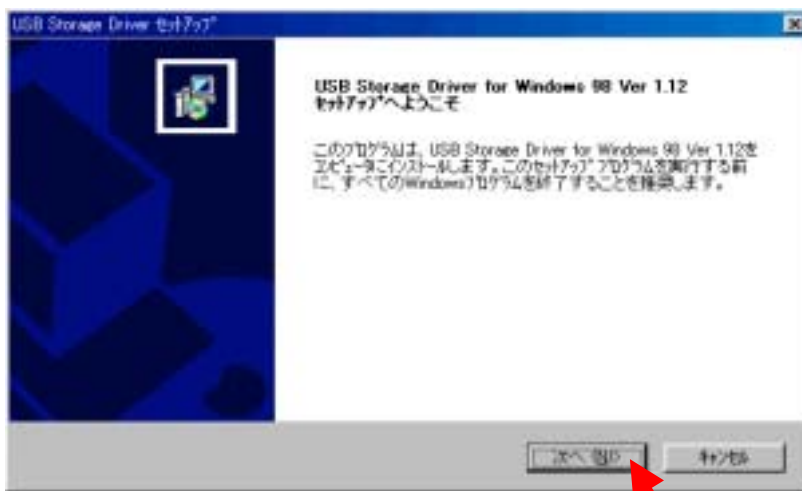


【注意】インストールを2度行くと、2回目には、アンインストールが行われます。

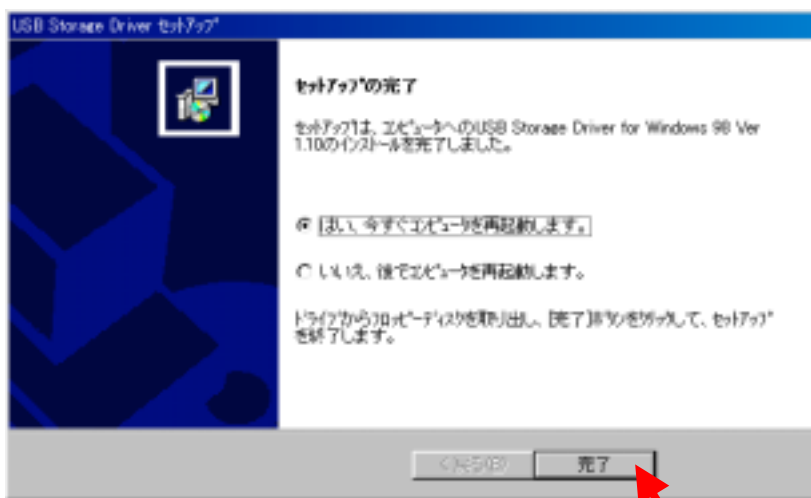
- 4) インストール時の言語の選択画面が出ます。 **OK** ボタンをクリックして、次へ進めて下さい。どの言語を選択しても、インストールされるドライバは、同じです。



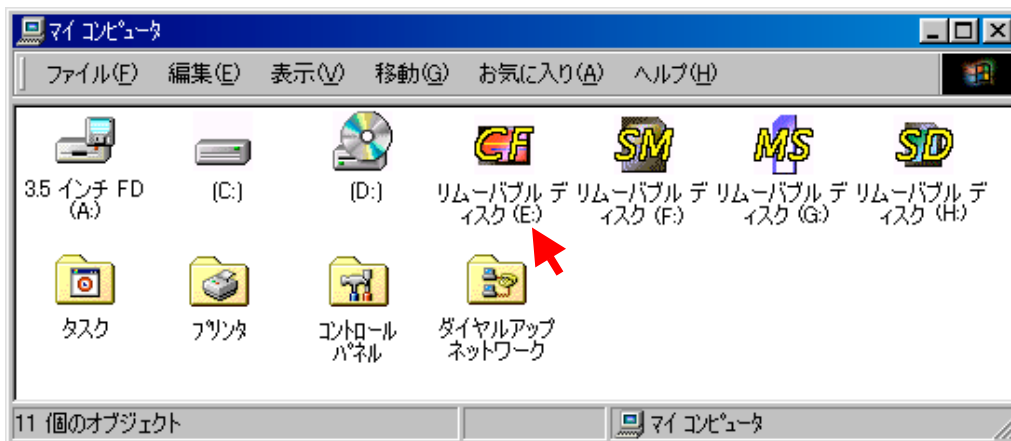
- 5) **次へ>** ボタンをクリックして、次に進めてください。インストーラは必要なファイルを、ハードディスクへコピーします。



- 6) **完了** ボタンをクリックして、インストーラを終了してください。Windows は、数秒後に、自動的に再起動します。



- 7) Windows が再起動しましたら、USB HMD2 の USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続して下さい。USB HMD2 は Windows に自動的に認識され、新しいハードウェアの追加が行われます。終了すると、マイコンピュータフォルダに、新しくメモリーカードドライブアイコン（リムーバブル ディスク）が4個追加されます。下記の例ではドライブ文字は(E:)から(H:)となっています。ドライブ文字(E:)などは、お使いのコンピュータの環境により異なります。



- 8) メモリーカードを挿入して、対応するアイコンをダブルクリックしますと、メモリーカード上のファイルが表示されてアクセス可能になります。

アイコン	対応するメモリーカード
	Compact Flash Microdrive
	SmartMedia
	Memory Stick
	SD Memory Card Multi Media Card

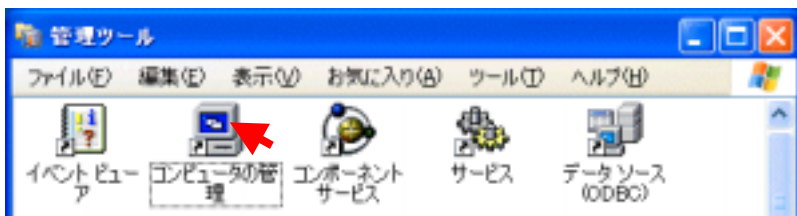
3.5. ドライブレターの変更方法（参考情報）

USB HMD2 を取付けることで、CD-ROM ドライブなどのドライブレター（E: や F: など）が変化してしまうことがあります。この場合、「コンピュータの管理」メニューで設定することにより、各メモリーカードのドライブレターを変更することが出来ます。以下にその手順を説明します。

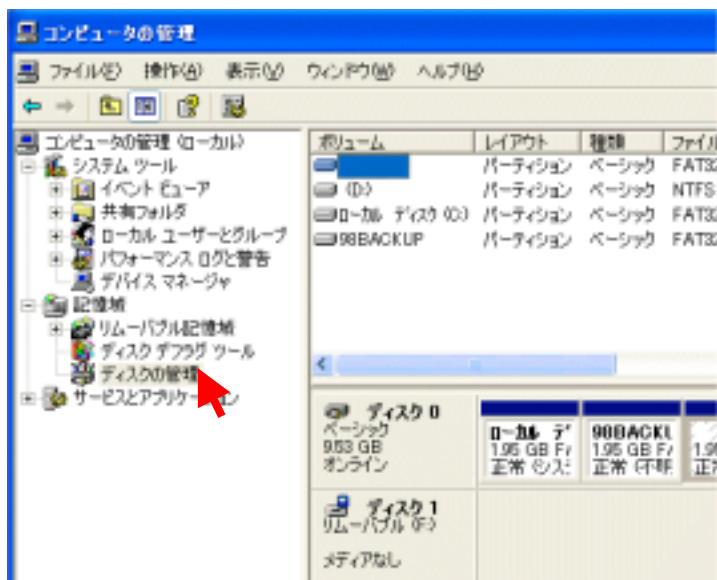
- 1) コントロールパネルより、「管理ツール」をダブルクリックして開いてください。



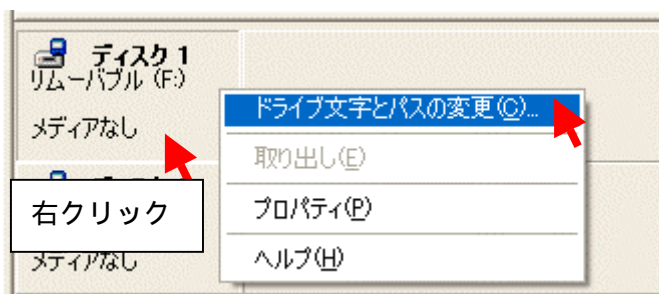
- 2) 管理ツールから、「コンピュータの管理」をダブルクリックして開いてください。



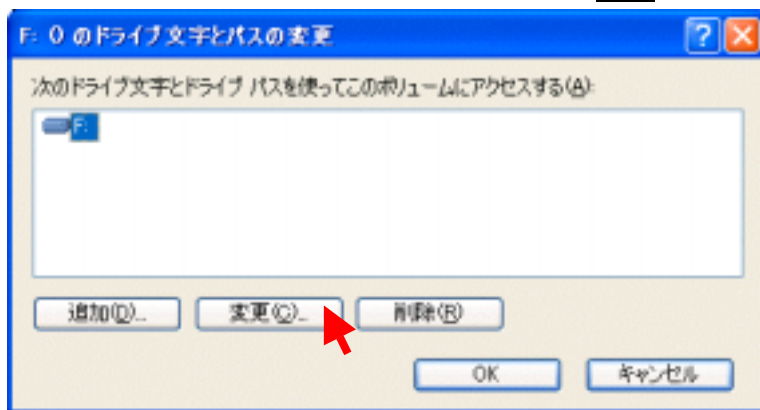
- 3) 「記憶域」ツリーの中の「ディスクの管理」を選択すると、右側にディスクの情報が表示されます。



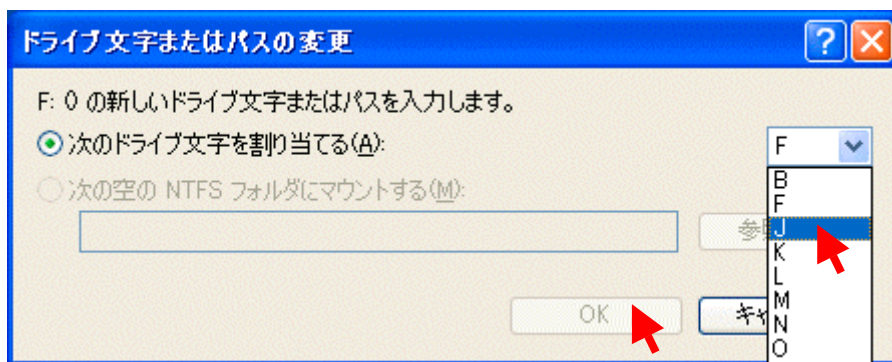
- 4) ドライブレターの変更を行いたい Disk を右クリックし、表示されるメニューから、ドライブレターの変更を選択してクリックしてください。



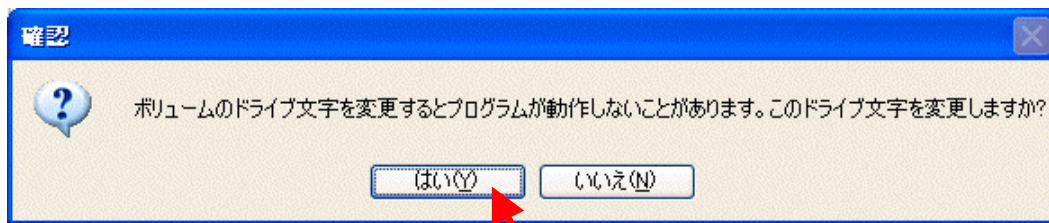
- 5) ドライブレターの変更メニューが出ますので、**変更**をクリックしてください。



- 6) 編集メニューで、ご希望のドライブレターに設定して **OK** をクリックしてください。ここでは、CompactFlash のドライブを、J: にしています。



- 7) 確認ダイアログが出ますので、**はい**をクリックしてください。



- 8) マイコンピュータを開くと、変更が反映されています。
以下の例では、CompactFlash を J:、SmartMedia を K: に設定しています。



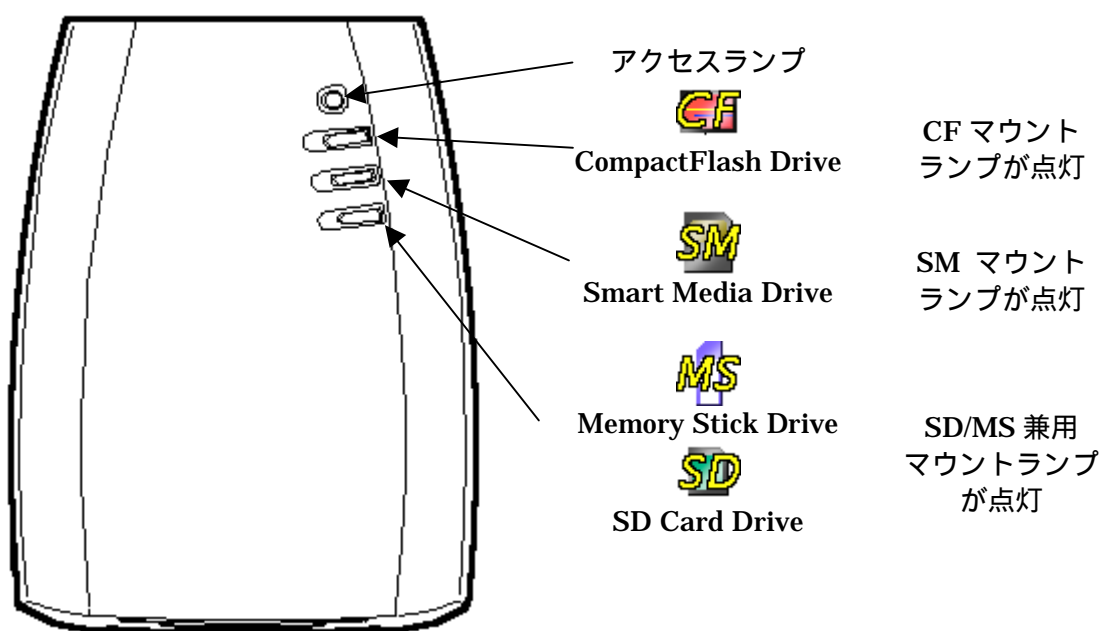
【注意】 ドライブレター変更後は、ドライブラベルが “リムーバブルディスク” と表示される場合があります。一旦、本装置を取り外した後、再接続をしてください。

3.6. Windows での操作方法

Windows での操作方法を、Windows XP の場合で説明します。他の OS では、画面の表示が異なる場合がありますが、基本的に操作方法は同じです。

1) メモリーカードの挿入(マウント)

USB HMD2 へ、メモリーカードを挿入すると、HMD2 上の対応するマウントランプが点灯し、アクセス可能になります。メモリーカードは、正しい向きで、速やかに奥まで挿入してください。ゆっくり挿入したり、途中で止めたりしますと、正しく認識できない場合があります。



【注意】 アクセスランプが点灯中は、メモリーカードを挿入しないようにしてください。

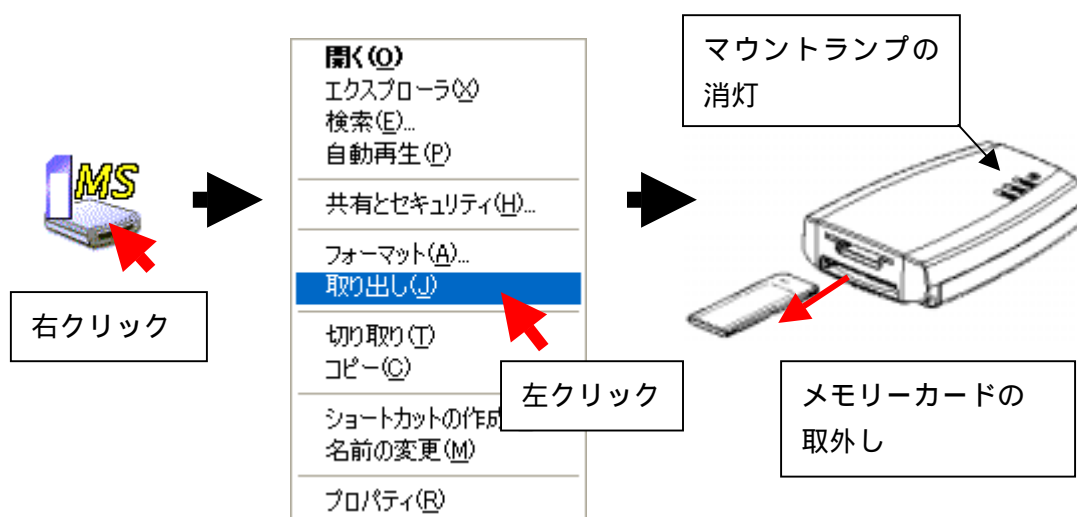
2) メモリーカードの取出し（アンマウント）

本装置は、ドアロック機構や、オートイジェクト機構は付いておりません。メディアを安全に取出す為に、下記の取出し操作を行ってから、メモリーカードを抜き出すことを推奨します。特に、Windows 2000, Windows XP では、ユーザが意図していない時に、アクセス中であることがありますので、取出し操作をなるべく行うようにしてください。

取出し操作

取出し操作を行う前に、アクセスランプで、アクセス中ではないことを確認ください。取出し操作は、マイコンピュータから、取出しを行うメモリーカードのアイコンを右クリックすると現れるメニューから「取り出し」を選択して行います。取出し操作を行いますと、対応するマウントランプが消灯します。マウントランプが消灯しましたら、メモリーカードを指でつまんで引き抜いてください。

【注意】Windows 2000 と Windows XP では、メニューの「取り出し」の実行には、管理者権限が必要です。ローカルセキュリティポリシーを使用し、管理者権限の無いユーザに「取り出し」の実行を許可することも可能です。



【重要】Windows 2000 や Windows XP では、取出し操作を行わないまま、メモリーカードの取外しを行いますと、青画面が表示されたり、メモリーカード上のデータが壊れたりすることがあります。Windows 98、Windows Me では、アクセス中でなければ、特に意識する必要はありません。

【注意】アクセスランプが点灯中は、メモリーカードの取外し操作をしないようにしてください。

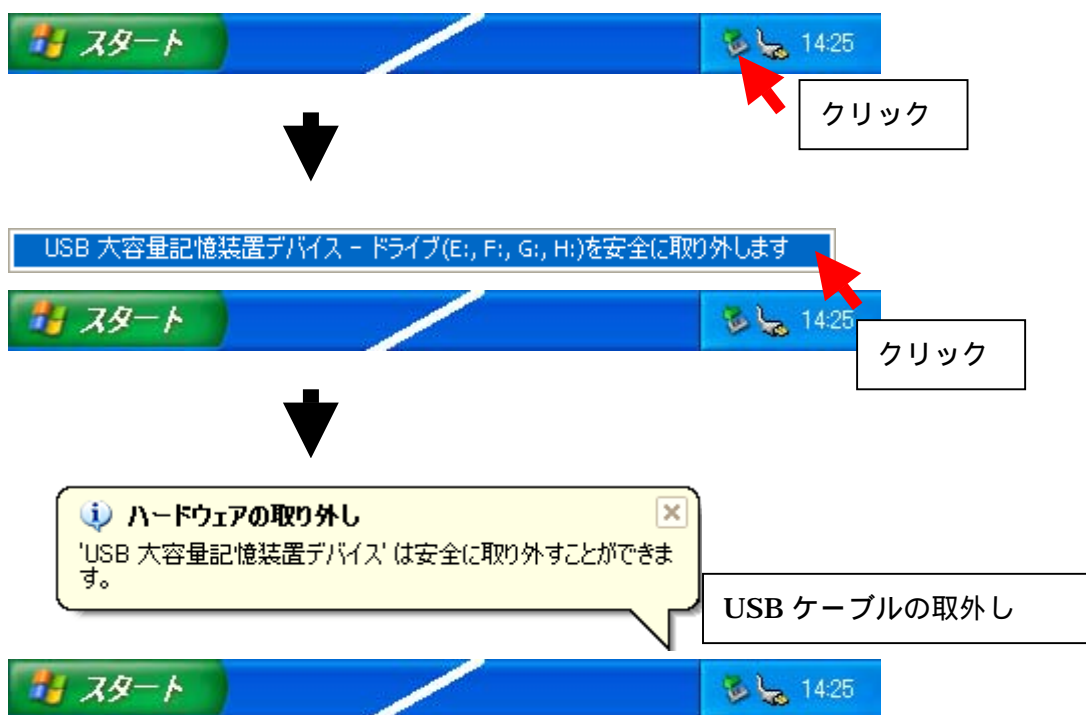
3) USB ケーブルの接続

USB ケーブルの接続は、必要になった時点で自由に行えます。USB ケーブルを接続する時は、全てのメモリーカードを予め取外して接続してください。

4) USB ケーブルの取外し

Windows Me、Windows 2000、Windows XP では、USB ケーブルを取外す前に、タスクトレイの取外しアイコンをクリックして、デバイスの取外しを行ってから、USB ケーブルを取外してください。Windows Me では、4 つの独立したドライブとして表示されますので、4 つ共に取外してください。

Windows 98 では、タスクトレイの取外しアイコンは存在しません。アクセス中ではないことを確認してから、USB ケーブルを抜いてください。



【注意】 アクセス中は、USB ケーブルの取外しを行わないようにしてください。

5) スタンバイ

本装置は、Windows のスタンバイモードに対応していますが、出来るだけ、スタンバイ前にメモリーカードの取出し操作を行うことをお勧めします。また、お使いの Windows のバージョンやパソコンの種類によって動作に支障がある場合があります。この場合は、スタンバイ前に、メモリーカードを取外してから、USB ケーブルを取外してください。スタンバイ中は、メディアの挿入や取出し、USB ケーブルの抜き差しは行わないようにしてください。

【注意】 アクセス中は、スタンバイを行わないようにしてください。

6) ドライバソフトウェアのアンインストール

ドライバソフトウェアをアンインストールする時は、ドライバ CD-ROM から、Install.exe を起動することで行えます。また、コントロールパネルのアプリケーションの追加と削除でも、該当のドライバソフトを選択することで、アンインストール出来ます。

3.7. Windows での制限事項

1) メモリーカードのフォーマット

メモリーカードのフォーマット（初期化）は、Windows 上では行わないようにしてください。Windows 上で Format を行いますと、フォーマットの種類（FAT サイズやクラスターサイズ）の違いから、デジタルカメラ等の機器で取り扱えなくなる場合があります。デジタルカメラをお持ちの場合は、フォーマットはデジタルカメラにて行ってください。

2) USB ハブ

USB HMD2 は、USB Port から、500 mA の電源の供給を必要とします。HMD 2 を、USB ハブに接続する場合は、セルフパワーハブに、AC アダプタを取り付けてご使用ください。キーボード上の USB ポートなどのバスパワーハブには接続しないようにして下さい。バスパワーハブでは、USB HMD2 が動作するのに必要な電力が不足する為に動作しません。

3) 起動（ブーティング）

PC は、USB HMD2 から起動できません。一部の PC では、起動時（電源投入時）に Compact Flash もしくは、Microdrive が挿入されていると、起動できない場合があります。起動時には、メモリーカードを挿入しないようにしてください。

4) ドライブラベル変更ドライバ

本装置を接続したまま、Windows XP, 2000 を起動すると、ドライブラベルが“リムーバブルディスク”と表示される場合があります。

この場合、Windows XP は、一旦、本装置を取り外した後、再接続してください。

Windows 2000 は、本装置をそのまま、**F5**キーをクリックしてください。

5) スタンバイ

Windows XP では、スタンバイ中に、USB 機器を取外すと、スタンバイから復帰後に USB 機器が動作しなくなることがあります。スタンバイ中には、USB 機器の取外しを行わないようにしてください。問題が発生した場合は、OS を再起動してください。

6) メモリーカードの抜き差し

メモリーカードの抜き差しは、必ずアクセスランプが消灯していることを確認してから行ってください。Windows の画面上ではコピーが終わったように見えても、OS の遅延書き込み等により、アクセス中の場合があります。また、他のカードがアクセス中で、アクセスランプが点灯している時は新たにメモリーカードを挿入しないでください。

7) Microdrive

IBM 社の Microdrive をお使いの場合は、他のメモリーカードを取外してください。Microdrive は他のメモリーカードより大きな電力を必要とするために、他のメモリーカードと同時に使用すると電力不足のためエラーが発生する恐れがあります。

8) Windows XP の「自動再生」動作

Windows XP では、デジタルカメラで使用した写真データ等マルチメディアの存在するメモリーカードを挿入すると、「自動再生」のメニューがでることがあります。「自動再生」の設定や解除は、マイコンピュータからメディアカードのドライブのアイコンを右クリックすると、「自動再生」のメニューが出ますのでそれで設定を変更します。「自動再生」についての詳細は、Windows XP のマニュアルを参照してください。



9) 複数機器の使用

1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器(キーボード、マウスを除く)を接続した場合は、同時にお使いになる USB 機器によっては、正常に動作しないことがあります。

10) 推奨する動作環境

Windows 98 Second Edition 以降の PC で、PC メーカーにて OS が予めインストールされていた状態の PC を推奨します。

自作された PC や OS を PC メーカーの指定する方法以外の方法でアップグレードされたり、ご自身の手で OS をインストールしたりされた PC では、動作しない場合があります。また、アドインカード等で増設された USB ポートでは動作しない場合があります。特に、Windows 95 や、Windows 3.1 などの OS がプリインストールされていた PC での動作保障は出来ません。

4. 仕様

4.1. 使用温度範囲

動作時 : 5~40°C (41~104°F)
非動作時 : -30~60°C (-22~140°F)

4.2. 使用湿度範囲

30~80% RH 但し結露していないこと

4.3. 動作時の姿勢

水平方向で使用のこと。(アクセスランプ、マウントランプが上になること)

4.4. USB 仕様

USB Spec : Ver 2.0 準拠
転送速度 : 12 MBps (Full Speed Device 時)
480MBps (High Speed Device 時)

4.5. 電氣的仕様

電源電圧 : DC 4.4 V から 5.25V (USB Port より供給)
消費電流 : 500 mA (MAX) 但し Microdrive 使用時を除く

4.6. サポートするメモリーカード

以下のメモリーカード (スティック) をサポートしています。

詳細は、項1.4Page6を参照ください。

- 1) Compact Flash Type I 及び Type II
- 2) Microdrive : 340 MB および 1GB
- 3) Smart Media (3.3V Type) 128 MB まで
- 4) Memory Stick : 128 MB まで
- 5) SD Memory Card : 512 MB まで
- 6) Multi Media Card : 128 MB まで

5. 技術サポートの問い合わせ先

最新のドライバソフト、技術情報の公開先	http://www.yedata.co.jp/support (日本語) http://www.yedata.com/support (英語)
電子メールでの問い合わせ 日本語もしくは英語での受付となります。	mailto:support@yedata.co.jp

製品の不良、故障、欠品等については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。